

事務局報

2019年5月23日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／廣瀬 智人
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03)3267-4821(代) ホームページ <http://www.kenteishiken.gr.jp/>

〈第142回〉銀行業務検定試験成績発表

投資信託2級が好成績

去る3月3日(日)に実施いたしました第142回銀行業務検定試験の成績結果がでましたので、ご参考までに発表いたします。

上記試験の成績に関する受験者および研修ご担当者の皆様へのご通知・ご報告は5月8日(水)までにすべての手続等を完了させております。

■財務3級

「財務3級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数19,739名中受験者は16,716名で、合格者は6,609名でした。合格率は39.54%、平均点は52.42点で、ともに前回(2018年6月)を上回りました。

最高点は100点で、能上高行さん(三菱UFJ信託銀行)、野原麻友さん(十六ビジネスサービス)、山田真由さん(岐阜県信用農業協同組合連合会)、藤澤友子さん(大阪シティ信用金庫)、近

藤達哉さん(大正銀行)、佐々木真さん、滝山滋さん、永田景樹さん、今西優希さん、秋山大地さん(以上、個人申込)の10名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-9〕流動負債の額の算出、〔問-12〕未実現利益の額の算出、〔問-26〕自己株式の処分の仕訳、〔問-37〕買掛金残高の算出、の4問でした。

〔問-12〕は、連結損益計算書の作成に際して消去すべき期末棚卸資産にかかる未実現利益の額を算出する問題です。本問の未実現利益の額は、子会社が仕入れた棚卸資産のうち、仕入原価の25%が親会社の付加した利益となります。仕入原価に利益を付加しているのか、利益率に利益を付加しているのかによって計算方法が異なるので、その違いをきちんと理解する必要があります。

〔問-26〕は、自己株式の処分の仕訳に関する問題です。企業が取得した自己株式の処分によって生じた差益(自己株式処分差益)は、資本剰余金(その他資本剰余金)として処理します。

本種目では、問題解説集に掲載されている過去問題で基本的な知識を確実に身につけることはもちろん、応用的な出題にも対応できるよう学習することが期待されます。

■税務2級

「税務2級」の成績結果は、〔表-2〕のとおり

主要項目

- ▶ 〈第142回〉銀行業務検定試験成績発表
- ▶ 都道府県別合格率ランキングのご紹介
- ▶ 団体賞受賞団体等一覧
- ▶ 団体賞受賞団体を訪ねて
- ▶ 〈第143回〉銀行業務検定試験／〈第47回〉コンプライアンス・オフィサー認定試験応募状況
- ▶ 申込団体別応募状況
- ▶ 10月試験のご案内

です。

応募者数 6,560 名中受験者は 4,784 名で、合格者は 1,069 名でした。合格率は 22.35%、平均点は 40.05 点で、ともに前回は下回りました。

最高点は 94 点で、塚原清也さん（福岡銀行）、菊地まゆみさん（個人申込）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

10 題の問題のうち平均点が最も低かったものは、〔問題－7〕各人の納付相続税額の計算で、2.75 点でした。また、平均点が最も高かったものは、〔問題－1〕事業所得者の総所得金額の計算で、5.66 点でした。

本種目は、所得税、相続税・贈与税、法人税の 3 分野で構成されていますが、法人税分野では、白紙の答案が多く見受けられます。苦手意識をもたず、すべての分野の基本を押さえることが重要です。

■ 税務 3 級

「税務 3 級」の成績結果は、〔表－3〕のとおりです。

応募者数 17,014 名中受験者は 14,390 名で、合格者は 3,767 名でした。合格率は 26.18%、平均点は 46.87 点で、ともに前回（2018 年 10 月）を下回りました。

最高点は 98 点で、瀧澤栄さん（日本生命保険）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30%を下回った問題は、〈所得税〉分野では〔問－1〕預貯金・公社債等にかかる課税、〔問－2〕株式・投資信託にかかる課税、〔問－5〕配当所得の金額の計算、〔問－10〕総合課税される譲渡所得の金額の計算、〔問－11〕土地建物の譲渡所得の金額の計算方法、〔問－15〕総所得金額の計算、〈相続税・贈与税〉分野では〔問－36〕事業承継税制、〔問－38〕配偶者控除を適用した贈与税額の計算、〈その他の税金〉分野で

〔表－1〕 財務 3 級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・銀 特・銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	671	5,714	758	1,854	4,962	822	752	38	311	9	199	3,649	19,739
応募比率	3.40	28.95	3.84	9.39	25.14	4.16	3.81	0.19	1.58	0.05	1.01	18.49	100.00
受験者数	644	5,100	588	1,529	4,310	668	678	32	223	8	169	2,767	16,716
受 験 率	95.98	89.25	77.57	82.47	86.86	81.27	90.16	84.21	71.70	88.89	84.92	75.83	84.69
合格者数	545	2,025	221	517	1,237	159	281	17	100	6	51	1,450	6,609
合 格 率	84.63	39.71	37.59	33.81	28.70	23.80	41.45	53.13	44.84	75.00	30.18	52.40	39.54
平 均 点	73.14	52.19	51.79	49.64	47.35	45.95	53.34	55.81	54.80	69.25	47.05	58.95	52.42
年 齢	24.3	27.5	30.6	27.7	28.3	30.7	33.2	31.5	30.0	24.4	40.1	30.6	28.8
勤続年数	0.7	4.2	6.7	5.0	5.7	8.2	9.8	7.7	6.1	1.0	16.5	7.4	5.6

〔表－2〕 税務 2 級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・銀 特・銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	39	3,486	430	383	1,249	71	153	22	3	1	6	717	6,560
応募比率	0.59	53.14	6.55	5.84	19.04	1.08	2.33	0.34	0.05	0.02	0.09	10.93	100.00
受験者数	28	2,712	273	251	965	52	130	12	2	0	5	354	4,784
受 験 率	71.79	77.80	63.49	65.54	77.26	73.24	84.97	54.55	66.67	0.00	83.33	49.37	72.93
合格者数	9	612	71	53	150	9	45	3	1	0	3	113	1,069
合 格 率	32.14	22.57	26.01	21.12	15.54	17.31	34.62	25.00	50.00	0.00	60.00	31.92	22.35
平 均 点	43.36	40.77	39.44	37.39	35.55	38.46	48.85	40.33	47.50	0.00	51.00	45.71	40.05
年 齢	28.4	31.0	31.7	34.7	35.3	38.8	39.5	33.7	40.0	0.0	37.4	34.5	32.7
勤続年数	5.2	7.8	7.9	11.2	12.2	14.7	15.9	9.1	1.0	0.0	19.3	10.8	9.4

は〔問－47〕国内事業者に対する消費税の課税、の9問でした。

過去問題で頻出の内容であっても、表現が違くと正解できないという傾向が全体的にみられました。選択肢の文章を暗記するのではなく、解説や参考図書を用いて内容を理解することが重要です。

税務4級

「税務4級」の成績結果は、〔表－4〕のとおりです。

応募者数2,242名中受験者は2,071名で、合格者は1,022名でした。合格率は49.35%、平均点は59.66点で、ともに前を下回りました。

最高点は98点で、坂田明美さん（あいち知多農業協同組合）、毛塚登さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%を下回った問題は、〈所得税〉分

野では〔問－20〕事業所得の収入金額、〈相続税・贈与税〉分野では〔問－39〕暦年課税による贈与税額の計算、〈法人税〉分野では〔問－44〕租税公課、の3問でした。

本種目の学習では、毎年度の税制改正を理解することが必要です。今回の問題では、〔問－39〕が平成25年度の税制改正をふまえた内容でしたが、十分に理解されていないことがうかがえました。財務省のパンフレットなど、わかりやすくまとまっている資料もあり、学習にあたって参考になるとおもわれます。

外国為替2級

「外国為替2級」の成績結果は、〔表－5〕のとおりです。

応募者数1,145名中受験者は846名で、合格者は246名でした。合格率は29.08%、平均点は48.58点で、ともに前を上回りました。

〔表－3〕税務3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	219	5,456	608	1,319	4,416	676	1,620	179	84	5	175	2,257	17,014
応募比率	1.29	32.07	3.57	7.75	25.96	3.97	9.52	1.05	0.49	0.03	1.03	13.27	100.00
受験者数	192	4,809	487	1,037	3,872	569	1,468	153	53	4	138	1,608	14,390
受験率	87.67	88.14	80.10	78.62	87.68	84.17	90.62	85.47	63.10	80.00	78.86	71.25	84.58
合格者数	91	1,329	181	212	762	93	410	39	22	3	42	583	3,767
合格率	47.40	27.64	37.17	20.44	19.68	16.34	27.93	25.49	41.51	75.00	30.43	36.26	26.18
平均点	57.70	47.96	52.19	44.14	43.70	41.52	47.09	45.58	54.42	72.00	46.45	51.69	46.87
年齢	25.8	26.7	27.1	28.0	28.5	31.1	32.5	28.5	35.3	23.3	38.8	31.2	28.7
勤続年数	2.2	3.6	3.1	5.1	6.1	8.0	9.1	4.0	10.9	0.5	14.6	6.6	5.5

〔表－4〕税務4級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	14	96	0	219	908	274	477	50	3	0	3	198	2,242
応募比率	0.62	4.28	0.00	9.77	40.50	12.22	21.28	2.23	0.13	0.00	0.13	8.83	100.00
受験者数	13	82	0	197	846	254	450	46	2	0	3	178	2,071
受験率	92.86	85.42	0.00	89.95	93.17	92.70	94.34	92.00	66.67	0.00	100.00	89.90	92.37
合格者数	12	51	0	84	436	99	190	29	0	0	1	120	1,022
合格率	92.31	62.20	0.00	42.64	51.54	38.98	42.22	63.04	0.00	0.00	33.33	67.42	49.35
平均点	75.85	62.59	0.00	57.93	60.22	55.71	57.26	64.26	58.00	0.00	58.00	66.97	59.66
年齢	24.9	26.6	0.0	23.8	24.9	24.3	27.3	33.0	39.5	0.0	49.0	31.3	26.1
勤続年数	0.8	3.6	0.0	0.9	2.6	2.3	3.3	3.9	13.0	0.0	28.3	6.5	2.9

最高点は86点で、鴻巣美穂さん（三井住友銀行 GS推進部・GS部）が個人最優秀賞を受賞されました。

問題別にみると、〔問題－1〕信用状の通知、〔問題－4〕信用状取引における取引先の倒産と債権保全、〔問題－6〕自行ユーザンス（本邦ローン）、〔問題－7〕為替予約にかかる与信判断、の得点が低調でした。これらの問題は、過去に出題されている問題の類似・応用問題ですが、設問で求めている内容を十分に記述できていなかった答案も多く、このような結果になったと思われます。

出題範囲をまんべんなく学習し、各科目の過去問題の応用問題等に対しても適切に解答し、確実に得点をすることが望まれます。

■ 外国為替3級

「外国為替3級」の成績結果は、〔表－6〕のと

おりです。

応募者数3,669名中受験者は3,009名で、合格者は1,164名でした。合格率は38.68%、平均点は54.01点で、ともに前回（2018年10月）を下回りました。

最高点は94点で、勝倉伸恵さん（東京スター銀行）、成瀬道紀さん（個人申込）の2人が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－2〕適法性の確認義務、〔問－3〕国外送金等調書提出制度、〔問－15〕信用状取引における銀行の代金回収方法、〔問－17〕輸出売掛金債権回収のリスクヘッジとオフバランス化等、〔問－31〕対顧客適用為替相場、〔問－36〕外為法上の本人確認、の6問でした。

科目ごとに平均点をみると、「貿易外取引」、「資本取引・国際金融」が高く、「輸出為替」が低くなっていますが、総じて、比較的バランスよく得

〔表－5〕 外国為替2級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・銀 特・銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	126	495	4	39	49	2	0	0	1	0	0	429	1,145
応募比率	11.00	43.23	0.35	3.41	4.28	0.17	0.00	0.00	0.09	0.00	0.00	37.47	100.00
受験者数	101	398	2	31	40	1	0	0	0	0	0	273	846
受 験 率	80.16	80.40	50.00	79.49	81.63	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	63.64	73.89
合格者数	47	74	1	11	13	1	0	0	0	0	0	99	246
合 格 率	46.53	18.59	50.00	35.48	32.50	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	36.26	29.08
平 均 点	55.31	44.21	67.50	49.06	48.00	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	52.26	48.58
年 齢	29.5	33.3	36.5	35.9	36.3	52.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	32.5
勤続年数	5.6	9.5	13.0	12.7	12.7	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	8.6

〔表－6〕 外国為替3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・銀 特・銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損・保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	399	1,624	14	401	345	7	3	0	3	0	2	871	3,669
応募比率	10.87	44.26	0.38	10.93	9.40	0.19	0.08	0.00	0.08	0.00	0.05	23.74	100.00
受験者数	374	1,350	10	357	290	6	2	0	3	0	0	617	3,009
受 験 率	93.73	83.13	71.43	89.03	84.06	85.71	66.67	0.00	100.00	0.00	0.00	70.84	82.01
合格者数	209	463	5	117	87	1	0	0	2	0	0	280	1,164
合 格 率	55.88	34.30	50.00	32.77	30.00	16.67	0.00	0.00	66.67	0.00	0.00	45.38	38.68
平 均 点	59.97	52.35	57.00	52.41	50.81	52.33	55.00	0.00	61.33	0.00	0.00	56.40	54.01
年 齢	25.0	29.8	29.0	35.5	34.7	30.2	44.0	0.0	38.3	0.0	0.0	29.8	30.4
勤続年数	1.6	6.9	4.4	6.5	11.4	6.8	24.0	0.0	16.3	0.0	0.0	5.5	6.4

点がなされていました。科目に偏りなく、出題範囲について全般的にしっかりと学習した受験者が多かった結果と思われます。

■ 経営支援アドバイザー2級

「経営支援アドバイザー2級」の成績結果は、〔表-7〕のとおりです。

応募者数1,734名中受験者は1,431名で、合格者は436名でした。合格率は30.47%、平均点は53.06点で、ともに前を下回りました。

最高点は87点で、西山新太郎さん（商工組合中央金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識（択一式）〉において、正解率が30%以下となった問題は、〔問-8〕定量分析、〔問-10〕安全性分析、の2問でした。択一式の平均点は29点台でした。高得点を目指すには、択一式で確実に得点を重ねることがポイントです。過去の出題傾向を研究し、理解を深めてください。

一方、〈技能・応用（記述式）〉においては、5題の平均点が4点台中盤となり前を下回りました。例年、平均点は5点台であり、5点を下回る問題が1～2題であるところ、今回は4題であったことが全体の平均点を押し下げた要因と分析します。とくに、〔問題-26〕費用削減効果を反映したDCF法による企業価値の算出が想定を大きく下回る結果でした。前半の金額や数値を求める問題で点数を落としている答案が多くみられたことが、低平均点の要因と分析しています。実際の

現場において、DCF法を用いて事業価値等を算出する場面もあろうかと思しますので、算出方法やメリット・デメリットについて、この機会に習得してはいかがでしょうか。

答案の作成にあたっては「出題の意図を的確に汲んだ内容とすること」を心がけてください。設定事例をふまえず一般論で書かれた答案や実現可能性の低い提案等といった解答は、受験者ご自身の実感よりも得点が伸びない要因となります。

本種目の受験により、これまでの経験を得点というかたちで表すことができ、また、これから経験する業務の得手不得手を認識する機会ともなります。本種目受験への挑戦を機に、業務への自信を深めていかれることを期待します。

■ 融資管理3級

「融資管理3級」の成績結果は〔表-8〕のとおりです。

応募者数3,436名中受験者は2,930名で、合格者は920名でした。合格率は31.40%、平均点は51.35点でした。前回の合格率33.66%と比べ、やや低い結果となっています。

最高点は90点で、船越千寛さん（日本政策金融公庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-8〕融資先の解散・清算、〔問-17〕抵当不動産の譲渡、〔問-21〕弁済による代位、〔問-24〕指名債権譲渡、〔問-28〕保全仮登記、〔問-29〕金銭債権の差押・取立、〔問-30〕債権償却等、〔問

〔表-7〕 経営支援アドバイザー2級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	53	735	0	185	468	89	11	2	1	0	1	189	1,734
応募比率	3.06	42.39	0.00	10.67	26.99	5.13	0.63	0.12	0.06	0.00	0.06	10.90	100.00
受験者数	50	612	0	143	404	70	11	2	1	0	1	137	1,431
受験率	94.34	83.27	0.00	77.30	86.32	78.65	100.00	100.00	100.00	0.00	100.00	72.49	82.53
合格者数	32	235	0	33	57	14	3	1	1	0	0	60	436
合格率	64.00	38.40	0.00	23.08	14.11	20.00	27.27	50.00	100.00	0.00	0.00	43.80	30.47
平均点	62.06	56.01	0.00	52.43	47.42	48.34	47.73	55.50	63.00	0.00	47.00	56.71	53.06
年齢	33.8	35.3	0.0	40.9	38.3	41.3	43.5	45.5	39.0	0.0	43.0	38.8	37.4
勤続年数	10.4	11.9	0.0	17.1	15.4	17.4	18.2	22.5	16.0	0.0	0.0	12.8	13.8

－ 32] 併存的債務引受、〔問－ 35] 貸付金債権の時効中断、〔問－ 40] 合併後の根抵当権、〔問－ 49] 民事再生手続における相殺、の 11 問でした。

とくに低かったのは〔問－ 17] 抵当不動産の譲渡の 13.28%、〔問－ 21] 弁済による代位の 10.96%、〔問－ 28] 保全仮登記の 4.06%、〔問－ 35] 貸付金債権の時効中断の 9.22%、〔問－ 40] 合併後の根抵当権の 11.88%、の 5 問でした。それぞれみていくと、〔問－ 17]〔問－ 35] は細かい判例の知識が問われ、〔問－ 21] は弁済による代位者相互の関係といった深い知識を問われ、〔問－ 28]〔問－ 40] は実務でなじみが薄いため、それぞれ低くなったものと推察されます。

1 年後には改正民法（債権法）が施行され、本種目においても、大きく影響が出てくるのが予想されます。現在の民法の規定がどう変わるのか、変わった結果どのような取扱いとなるのか、今一度確認していただければと思います。

■年金アドバイザー 2 級

「年金アドバイザー 2 級」の成績結果は、〔表－ 9] のとおりです。

応募者数 1,707 名中受験者は 1,325 名で、合格者は 279 名でした。合格率は 21.06%、平均点は 44.27 点で、ともに前を下回りました。

最高点は 89 点で、須藤弦さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点が 3 点以下となった問題は、〔問題－ 1] 最近の年金制度の法改正の 1 題でした。本問は、年金額改定のルールと老齢年金生活者支援給付金からの出題です。

前者は、持続可能性向上法（平成 28 年 12 月公布）の内容に関するものです。年金額をみる場合、決定された金額にのみ興味があり、その背景に興味がないためか、低調な結果となりました。

後者は、消費税の税率引上げにあたっての高齢低所得者対策として注目されている施策に関する

〔表－ 8] 融資管理 3 級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	信 金	信 組	信・ 連 農協	労 金	生・ 保 損保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	110	1,342	1	288	775	212	165	36	7	0	2	498	3,436
応募比率	3.20	39.06	0.03	8.38	22.56	6.17	4.80	1.05	0.20	0.00	0.06	14.49	100.00
受験者数	105	1,174	1	231	682	180	155	28	6	0	2	366	2,930
受験率	95.45	87.48	100.00	80.21	88.00	84.91	93.94	77.78	85.71	0.00	100.00	73.49	85.27
合格者数	63	351	0	50	194	48	52	4	4	0	2	152	920
合格率	60.00	29.90	0.00	21.65	28.45	26.67	33.55	14.29	66.67	0.00	100.00	41.53	31.40
平均点	61.77	51.10	52.00	47.76	50.21	49.62	51.29	44.57	61.67	0.00	64.00	54.72	51.35
年齢	31.3	32.3	24.0	34.5	36.8	38.3	39.6	35.5	35.3	0.0	51.5	37.5	34.9
勤続年数	7.5	9.1	1.0	11.6	13.2	15.3	15.9	10.4	9.5	0.0	27.0	11.2	11.2

〔表－ 9] 年金アドバイザー 2 級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	信 金	信 組	信・ 連 農協	労 金	生・ 保 損保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	12	135	9	43	126	21	125	11	3	1	22	1,199	1,707
応募比率	0.70	7.91	0.53	2.52	7.38	1.23	7.32	0.64	0.18	0.06	1.29	70.24	100.00
受験者数	8	104	4	30	106	17	109	11	3	1	20	912	1,325
受験率	66.67	77.04	44.44	69.77	84.13	80.95	87.20	100.00	100.00	100.00	90.91	76.06	77.62
合格者数	1	8	0	1	13	2	18	2	0	0	3	231	279
合格率	12.50	7.69	0.00	3.33	12.26	11.76	16.51	18.18	0.00	0.00	15.00	25.33	21.06
平均点	41.63	36.71	24.50	29.67	35.24	34.53	41.47	42.91	42.67	35.00	40.60	47.40	44.27
年齢	41.1	41.4	48.8	42.6	45.3	41.9	37.0	44.3	43.7	58.0	44.5	49.9	47.3
勤続年数	13.3	16.8	24.7	18.2	18.6	17.9	13.3	21.4	14.0	35.0	19.5	18.9	17.9

ものです。一般の報道でも取り上げられるほどであることから、年金アドバイザー2級の受験者には知っておいていただきたかったのですが、残念な結果となりました。

■年金アドバイザー3級

「年金アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-10〕のとおりです。

応募者数8,250名中受験者は6,885名で、合格者は2,200名でした。合格率は31.95%、平均点は48.33点で、ともに前回(2018年10月)を下回りました。

最高点は100点で、遠島義正さん、川島隆良さん(以上、個人申込)の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-32〕老齢給付、〔問-37〕60歳台前半の在職老齢年金、〔問-44〕遺族厚生年金、の3問でした。

〔問-32〕は老齢給付の繰下げに関する問題で、老齢基礎年金を65歳6ヵ月から繰下げ受給できるという選択肢が誤りで、これが正解です。老齢基礎年金の支給開始年齢は65歳で、繰下げ受給をする場合は66歳以降となります。支給開始年齢以降であれば繰下げできると勘違いした受験者が多かったと思います。

〔問-37〕は、定番のテーマ・出題形式の問題です。在職老齢年金につき、基本月額、総報酬月額相当額、支給停止額、在職老齢年金の額の4つの論点が主要であるため、5つの文章の選択肢で

はなく、4つの文章の正誤を問う個数問題です。この出題形式のため、難度が高く、低調な結果となる問題です。

〔問-44〕は、やはり定番のテーマですが、低調な結果となることが多い問題です。遺族厚生年金の定義だけでなく、事例にあてはめてどのように扱われるのかを問うことから、応用力が必要となるためです。

■年金アドバイザー4級

「年金アドバイザー4級」の成績結果は、〔表-11〕のとおりです。

応募者数1,482名中受験者は1,323名で、合格者は796名でした。合格率は60.17%、平均点は64.68点で、ともに前回と同水準でした。

最高点は100点で、末武佑樹さん(えひめ南農業協同組合)、古屋美季さん(福岡市東部農業協同組合)、伊東健夫さん、武川伸子さん、相馬知佳さん(以上、個人申込)の5名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が40%以下となった問題は、〔問-6〕国民年金の第3号被保険者、〔問-26〕確定拠出年金、〔問-38〕60歳台後半の在職老齢年金、の3問でした。しかし、いずれも30%台後半の正解率であり、苦手な問題もなくまんべんなく得点されていたといえます。

本種目を受験することで習得した知識を生かし、今後、3級・2級と上位種目に挑戦をしていただきたいと思います。

〔表-10〕年金アドバイザー3級・業態別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	43	828	11	158	1,470	386	1,581	82	63	2	1,457	2,169	8,250
応募比率	0.52	10.04	0.13	1.92	17.82	4.68	19.16	0.99	0.76	0.02	17.66	26.29	100.00
受験者数	31	663	10	134	1,299	325	1,439	64	38	2	1,248	1,632	6,885
受 験 率	72.09	80.07	90.91	84.81	88.37	84.20	91.02	78.05	60.32	100.00	85.66	75.24	83.45
合格者数	14	208	6	26	353	66	392	22	12	0	344	757	2,200
合 格 率	45.16	31.37	60.00	19.40	27.17	20.31	27.24	34.38	31.58	0.00	27.56	46.38	31.95
平均点	56.71	48.90	65.60	42.75	44.83	43.02	45.01	49.69	48.21	44.00	46.22	56.62	48.33
年 齢	37.7	33.0	39.4	32.4	32.2	32.0	33.0	36.0	33.2	40.5	38.2	41.3	35.8
勤続年数	15.1	8.9	16.0	9.2	9.7	9.3	9.7	9.2	7.3	31.0	14.8	14.5	11.4

■投資信託2級

「投資信託2級」の成績結果は、〔表-12〕のとおりです。

応募者数744名中受験者は550名で、合格者は168名でした。合格率は30.55%、平均点は48.29点で、前回よりも高い結果となりました。

最高点は87点で、大塚理恵さん（東京東信用金庫）が個人最優秀賞を受賞されました。

問題別にみると平均点が3点以下となった問題は、〔問題-2〕受益者の権利・投資信託財産の保全の1題でした。本問の追加型株式投資信託に関する設問については、全く解答していない答案も数多く、投資信託の仕組みや機能等の基本的な知識を習得していない受験者が多いことがわかりました。受益者の有する権利、受益権の内容を知ることが投資信託の制度・仕組みを理解するうえの基本ですので、十分な学習が求められます。

一方、平均点が5点を越えた問題は、〔問題-

1〕投資信託の収益分配、〔問題-3〕投資信託の運用手法、〔問題-6〕投資信託販売上の禁止行為、〔問題-7〕つみたてNISA、〔問題-8〕解約手取り金額の計算、の5題でした。

■投資信託3級

「投資信託3級」の成績結果は、〔表-13〕のとおりです。

応募者数4,137名中受験者は3,608名で、合格者は1,530名でした。合格率は42.41%、平均点は54.03点で、ともに前を下回りました。

最高点は98点で、山崎洋志さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-6〕外国投資信託の特徴・販売、〔問-17〕iDeCo（個人型確定拠出年金）、〔問-24〕契約締結時交付書面、〔問-26〕顧客カードの記載事項、〔問-27〕個人情報保護法・番号法、〔問-28〕

〔表-11〕年金アドバイザー4級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	信金	信組	信・ 連協	労金	生・ 保損保	証券	郵政	他団体 個人	全体
応募者数	1	96	0	38	581	125	462	10	4	0	8	157	1,482
応募比率	0.07	6.48	0.00	2.56	39.20	8.43	31.17	0.67	0.27	0.00	0.54	10.59	100.00
受験者数	1	84	0	30	519	113	426	8	4	0	7	131	1,323
受験率	100.00	87.50	0.00	78.95	89.33	90.40	92.21	80.00	100.00	0.00	87.50	83.44	89.27
合格者数	0	52	0	15	334	61	216	6	2	0	4	106	796
合格率	0.00	61.90	0.00	50.00	64.35	53.98	50.70	75.00	50.00	0.00	57.14	80.92	60.17
平均点	56.00	63.98	0.00	61.33	66.18	62.53	60.51	75.50	58.00	0.00	67.14	74.82	64.68
年齢	34.0	30.0	0.0	30.1	27.8	25.7	30.0	35.8	42.8	0.0	36.7	40.5	29.9
勤続年数	11.0	7.2	0.0	6.1	5.4	3.2	6.0	6.3	20.5	0.0	14.0	13.2	6.4

〔表-12〕投資信託2級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	信金	信組	信・ 連協	労金	生・ 保損保	証券	郵政	他団体 個人	全体
応募者数	7	355	61	53	64	2	7	22	0	41	1	131	744
応募比率	0.94	47.72	8.20	7.12	8.60	0.27	0.94	2.96	0.00	5.51	0.13	17.61	100.00
受験者数	5	278	41	32	51	1	5	15	0	38	1	83	550
受験率	71.43	78.31	67.21	60.38	79.69	50.00	71.43	68.18	0.00	92.68	100.00	63.36	73.92
合格者数	1	64	19	7	8	1	3	4	0	26	0	35	168
合格率	20.00	23.02	46.34	21.88	15.69	100.00	60.00	26.67	0.00	68.42	0.00	42.17	30.55
平均点	40.80	45.36	56.66	42.66	41.75	76.00	56.20	47.60	0.00	64.16	58.00	52.57	48.29
年齢	39.6	37.2	37.7	40.1	37.8	31.0	40.6	35.8	0.0	38.2	38.0	34.3	37.1
勤続年数	16.3	14.2	15.0	16.7	13.6	8.0	14.4	10.3	0.0	10.2	19.0	8.6	13.2

景気動向の判断指標、〔問－34〕追加型株式投資信託の解約代金、〔問－37〕外債ファンドの価格変動要因、〔問－44〕ファンドのベンチマーク、の9問でした。

これらの問題は投資信託を販売する際に必要となる重要なテーマですので、問題解説集を用いて基礎知識を固めたり、投資信託関連の情報に日頃から耳を傾けたりするなど、周辺の知識も含めて習得し実務に役立ててください。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問－1〕投資信託の仕組み、〔問－46〕乗換勧誘に該当しないケース、〔問－47〕投資信託の販売時の説明、〔問－48〕クレーム対応、の4問でした。

相続アドバイザー2級

「相続アドバイザー2級」の成績結果は、〔表－14〕のとおりです。

応募者数1,889名中受験者は1,541名で、合格

者は392名でした。合格率は25.44%、平均点は49.13点でした。

最高点は88点で、山形早苗さん（中国銀行）、金井史志さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

〈四択択一式〉において、正解率が30%以下となった問題は、〔問－14〕相続税の申告書の提出・納付、〔問－18〕信託の活用の2問でした。一方、正解率が80%以上となった問題は、〔問－6〕遺言を活用した相続対策、〔問－15〕不動産管理会社の活用（サブリース契約）、〔問－25〕相続手続きにおける各種書類の提出、の3問でした。

〈記述式〉において、平均点が5点を下回った問題は、〔問題－27〕遺言がある場合の相続・相続債務の取扱い、〔問題－28〕遊休不動産の有効活用、〔問題－29〕生前贈与と財産評価、の3題でした。

前回に比べて解答状況は全般的に良好であり、

〔表－13〕投資信託3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	81	1,694	65	258	935	21	225	191	1	71	26	569	4,137
応募比率	1.96	40.95	1.57	6.24	22.60	0.51	5.44	4.62	0.02	1.72	0.63	13.75	100.00
受験者数	73	1,487	55	216	857	18	203	164	1	67	24	443	3,608
受 験 率	90.12	87.78	84.62	83.72	91.66	85.71	90.22	85.86	100.00	94.37	92.31	77.86	87.21
合格者数	33	709	27	61	268	6	87	54	1	53	10	221	1,530
合 格 率	45.21	47.68	49.09	28.24	31.27	33.33	42.86	32.93	100.00	79.10	41.67	49.89	42.41
平 均 点	56.38	56.37	58.51	49.80	49.19	52.89	51.97	51.46	64.00	67.43	56.92	56.39	54.03
年 齢	29.7	30.1	29.6	32.0	35.0	30.7	36.4	33.2	47.0	34.1	38.6	35.2	32.6
勤続年数	6.1	6.8	5.8	9.5	12.5	8.5	13.1	8.8	10.0	7.4	19.3	10.9	9.3

〔表－14〕相続アドバイザー2級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	30	759	31	80	252	43	146	15	1	0	24	508	1,889
応募比率	1.59	40.18	1.64	4.24	13.34	2.28	7.73	0.79	0.05	0.00	1.27	26.89	100.00
受験者数	25	603	29	66	217	39	136	12	1	0	20	393	1,541
受 験 率	83.33	79.45	93.55	82.50	86.11	90.70	93.15	80.00	100.00	0.00	83.33	77.36	81.58
合格者数	9	118	16	13	48	5	40	3	1	0	2	137	392
合 格 率	36.00	19.57	55.17	19.70	22.12	12.82	29.41	25.00	100.00	0.00	10.00	34.86	25.44
平 均 点	55.52	47.07	58.14	48.53	46.88	41.95	50.52	47.50	60.00	0.00	39.55	53.31	49.13
年 齢	40.8	42.0	45.1	44.4	43.2	44.7	41.8	46.3	36.0	0.0	44.4	45.1	43.2
勤続年数	16.0	18.5	20.5	20.4	19.2	19.7	18.0	18.5	13.0	0.0	17.5	17.1	18.4

問題解説集の学習効果によるものだけでなく、3級試験の受験の際に学習された基本知識の定着が十分に図られている受験者が多かったと推測されます。

本種目の学習においては、問題解説集による過去問題の出題傾向の把握とともに、3級試験の受験の際に学んだ相続関連法令等諸規則、相続手続きや利用される金融商品等に関する基本的な知識、および相続税・贈与税の税額計算にかかる基本知識とその計算の流れをあらためて整理しておくことが必要です。試験で問われる論点は、顧客に対し説明すべき事項とも重なります。頻出の論点は実務においても役立てられるように理解を深めておくことが望まれます。

※第142回銀行業務検定試験「相続アドバイザー2級」試験の記述式問題〔問題-26〕の〔質問1〕(2)は、施行前の改正民法の制度を問うものであり、実施要項に照らし、試験委員会にて協議・検討いたしました結果、不適切と判断し、本問については一律に2点加点しました。受験者の皆様をはじめ関係者の皆様には、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

相続アドバイザー3級

「相続アドバイザー3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数7,599名中受験者は6,454名で、合格者は2,728名でした。合格率は42.27%、平均点は55.28点でした。

は55.28点でした。

最高点は98点で、桑原登起さん（日本郵便 関東支社）、小柳寿男さん（日本郵便 東京支社）、吉田譲之さん（三菱UFJ信託銀行）、山崎茂紀さん（個人申込）の4名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈相続の基礎知識〉分野では〔問-6〕未成年者との養子縁組、〔問-13〕貸家建付地の評価、〔問-16〕配偶者の相続税額軽減額の計算、〔問-17〕遺産未分割の場合に適用されるもの、〔問-18〕相続税の2割加算の対象、の5問、〈その他周辺知識〉分野では〔問-40〕信託銀行等の営む遺言執行業務の1問でした。〈相続と金融実務〉分野、〈事例付四択一〉分野ではありませんでした。

一方、正解率が80%以上となった問題は、〈相続と金融実務〉分野では〔問-23〕認知症等の相続人への対応、〈その他周辺知識〉分野では〔問-36〕相続アドバイスとコンプライアンスの各1問でした。

全般的には良好な結果となりました。今回、相続税関係の出題について、計算を通して知識を確認する問題を新たに出題しましたが、基本知識を着実に身につけていた受験者は十分に対応できたようです。

本種目の学習にあたっては、問題解説集をベースとして出題傾向をつかむ学習をすることに加え、参考図書・通信講座等で体系的な知識を身につけることが望まれます。

〔表-15〕 相続アドバイザー3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	119	1,730	50	221	1,075	207	1,404	63	10	62	993	1,665	7,599
応募比率	1.57	22.77	0.66	2.91	14.15	2.72	18.48	0.83	0.13	0.82	13.07	21.91	100.00
受験者数	107	1,481	41	187	936	179	1,284	53	9	52	863	1,262	6,454
受 験 率	89.92	85.61	82.00	84.62	87.07	86.47	91.45	84.13	90.00	83.87	86.91	75.80	84.93
合格者数	61	706	27	66	340	60	430	19	5	11	373	630	2,728
合 格 率	57.01	47.67	65.85	35.29	36.32	33.52	33.49	35.85	55.56	21.15	43.22	49.92	42.27
平均点	60.99	57.13	67.51	54.15	52.97	51.66	51.64	53.21	63.11	45.15	55.75	58.47	55.28
年 齢	36.2	35.1	40.7	34.8	37.5	37.0	37.2	40.7	42.7	39.0	39.7	40.1	37.6
勤続年数	11.5	11.9	16.8	11.3	14.6	13.7	13.8	13.0	21.3	17.9	16.8	13.9	13.7